

## 第51回病診連携委員会要録

日 時 平成26年3月31日(月) 午後7時30分  
場 所 浪速区医師会 会議室  
出席者 浪速区医師会 : 8名  
:  
生野区医師会 : 2名  
愛染橋病院 : 2名  
大野記念病院 : 2名  
浪速生野病院 : 2名  
富永病院 : 2名  
大和中央病院 : 3名  
内藤病院 : 2名  
育和会記念病院 : 3名  
社会福祉協議会 : 1名  
さくらんぼ : 1名  
浪速区医師会事務局 : 1名

今回は、生野区医師会より参加があった。

### 議 題

#### 1. 第50回病診連携委員会報告について(資料1)

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

#### 2. ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について(富永病院)

富永病院の西隣りにオープンした有料老人ホーム「エルカーザ富永」が紹介された。富永病院の関連施設であるが、ホームの開設に合わせて、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所を同時に開設し、介護・看護・医療の連携体制を確保している。3階に通所リハビリセンター、4階に中央フードが提供する会員制レストラン、5階から13階が居室となっている。介護が必要な人は5～8階に入所してもらい、9～13階には自立度の高い人に入所してもらう予定である。

#### 3. 病診連携委員会のアンケート結果について

##### 《連携病院への質問》

救急搬送の依頼を受け入れできなかった症例数とその疾患名についてアンケートした。拒否理由としては、満床や、精神科疾患の関与や、緊急非対応疾患がほとんどであった。アルコールを飲んでいる患者についても、可能な限り対応を考えてくれる病院もあった。経過観察の一泊入院については、空床状況などの条件は付くもののほとんどの病院は協力可能とのことであった。

##### 《診療所への質問》

ブルーカードの登録基準の拡大についてアンケートした。

登録基準の拡大については、前向きな意見と慎重な意見とに分かれた。今後症例をしぼって少しずつ拡大していく方向で協議することとなった。

##### 《包括支援センターとケアマネへの質問》

かかりつけ医の決定・依頼についてとケアマネ間の連絡網についてアンケートした。

診療所の紹介情報が実際と違っていかかりつけ医決定に難渋することもあるとの意見があった。区内のケアマネ間の関係は比較的良好であるためFaxによる連絡網で可能との意見であった。区内の居宅介護支援事業所の情報については一覧が作成され、包括支援センターで把握しているとのことであった。

#### 4 在宅医療連携等の取り組みについて（生野区医師会）

生野区医師会の在宅医療連携の取り組みが担当理事の山寺先生より紹介された。

生野区医師会では、①基幹病院との連携強化、②在宅医療協力診療所の立ち上げ、③医師会員の在宅医療スキルの向上と地域でのネットワーク整備、④各職種の協働基盤の作成の4つを柱として在宅医療に取り組んでいるとのことであった。②の在宅医療協力診療所については、生野区にある4つの地域包括支援センターの管轄ごとに在宅協力診療所を考えているが、その患者情報の連絡にブルーカードシステムが利用できないかを検討してみたいとのことであった。

#### 5 ブルーカードと在宅医療ネットワークについて

藤吉先生より在宅医療ネットワークが紹介され、久保田先生よりトータル医療ネットワークの取り組みが紹介された。

#### 6 平成25年度転退院調整・在宅医療円滑化ネットワークについて

3月29日に行われた平成25年度転退院調整・在宅医療円滑化ネットワーク報告会での発表内容が報告された。

#### 7 その他

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区438件、他地区101件の合計539件、現在までの使用状況は、浪速区578件、他地区30件、今月の新規件数は17件であったと事務局より報告があった。今月は中止報告がいつもより多かったが、カード内容の変更で新カードを再登録する際に報告の滞っていたものが提出されたためと考えられた。

次回会議予定 平成26年4月28日（月）午後7時45分～